

2025年

令和7年3月26日発行

春号

Hokkaido Tourism Organization
北海道 観光レポート



松前町 松前城



上湧別町 かみゆうべつチューリップ公園



新ひたか町 静内三十間道路桜並木



中富良野町 春の畑

●2024年(年間)の北海道全体の延べ宿泊者数は4,202万人泊となり、
過去最多を更新

●2024年(年間)の来道者輸送実績は1,399万人となり、
昨年を上回りコロナ前の2019年の1,408万人に迫る数値となった。

トピックス

令和6年度 北海道来訪者満足度・観光産業経済効果調査事業 調査結果について

HOKKAIDO LOVE!



北海道の延べ宿泊者数実績

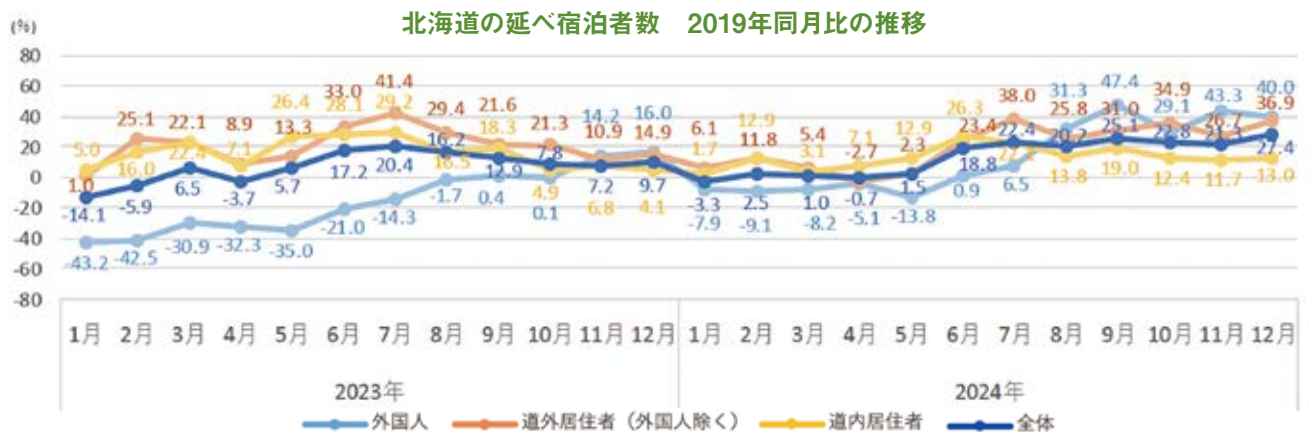
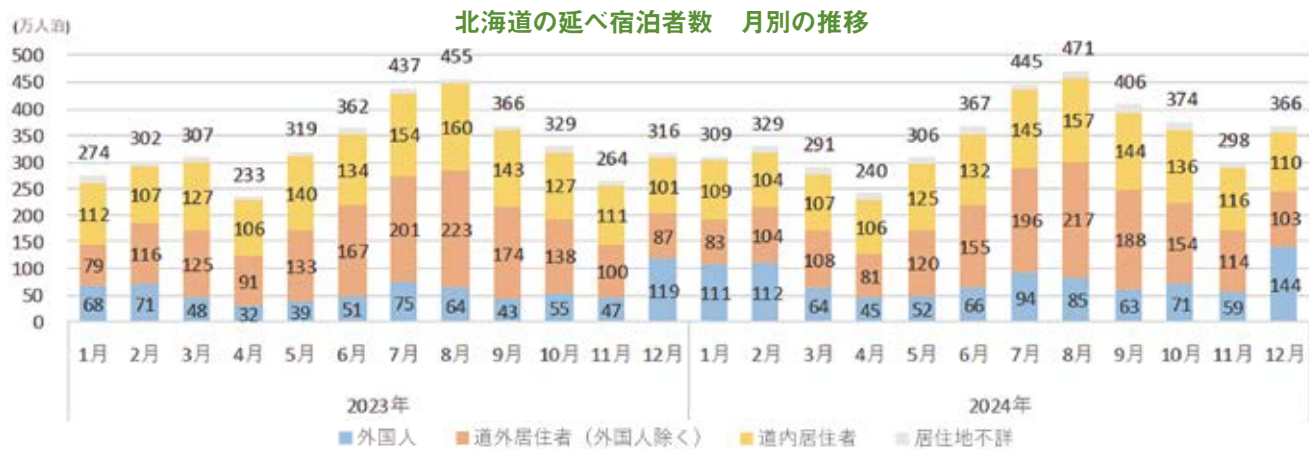
2024年10-12月

- 北海道の延べ宿泊者数(全体)は、10月は374万人泊(前年同月比+13.8%、2019年同月比+22.8%)、11月は298万人泊(前年同月比+13.2%、2019年同月比+21.3%)、12月は366万人泊(前年同月比+16.1%、2019年同月比+27.4%)であった。
- 北海道の日本人延べ宿泊者数は、10月は303万人泊(前年同月比+10.8%、2019年同月比+21.3%)、11月は239万人泊(前年同月比+10.5%、2019年同月比+16.9%)、12月は223万人泊(前年同月比+13.3%、2019年同月比+20.4%)であった。
- 北海道の外国人延べ宿泊者数は、10月は71万人泊(前年同月比+29.0%、2019年同月比+29.1%)、11月は59万人泊(前年同月比+25.5%、2019年同月比+43.3%)、12月は143万人泊(前年同月比+20.7%、2019年同月比+40.0%)であった。
- 前年対比では、日本人延べ宿泊者数は各月+10%以上増加し、外国人延べ宿泊者数においては各月+20%以上増加したことにより、全体を押し上げる結果となった。
- 2019年対比では、外国人延べ宿泊者数が全国は各月+50%以上、北海道においても各月+20%以上と共に大きく上回り、北海道の全体においては、7月から6か月連続で20%を超え、好調をキープしている。
- なお、2024年1-12月(年間)の北海道全体の延べ宿泊者数は、コロナ禍前の2019年同期比+13.6%の4,202万人泊となり、昨年の3,963万人泊に続き過去最多を更新。外国人延べ宿泊者数においても、965万人泊となり、コロナ禍前の2019年(881万人泊)を初めて上回り、過去最多となった。
- 市場別の延べ宿泊者数は、2024年1-12月の年間で韓国が203万人泊と最も多く、次いで台湾192万人泊、中国121万人泊、香港64万人泊、タイ47万人泊、シンガポール42万人泊、米国35万人泊、豪州22万人泊、マレーシア21万人泊となった。

延べ宿泊者数データ(2024年10-12月第2次速報)

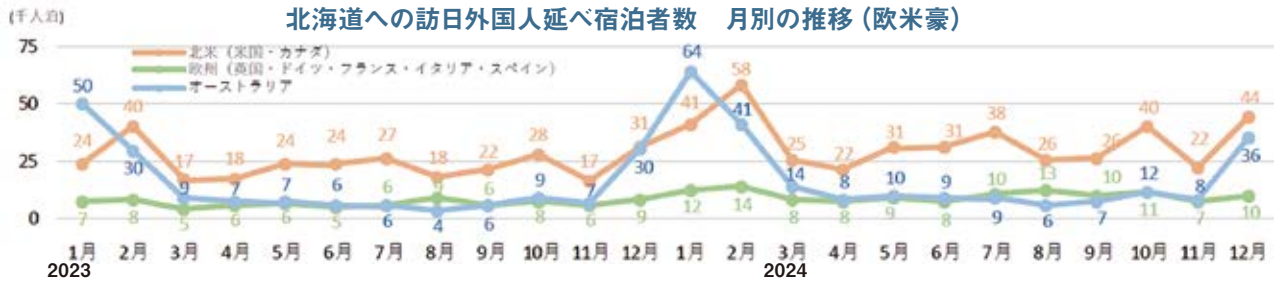
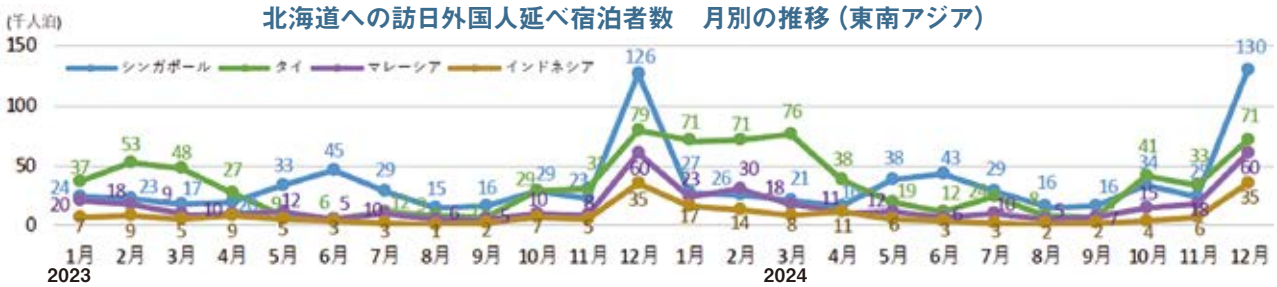
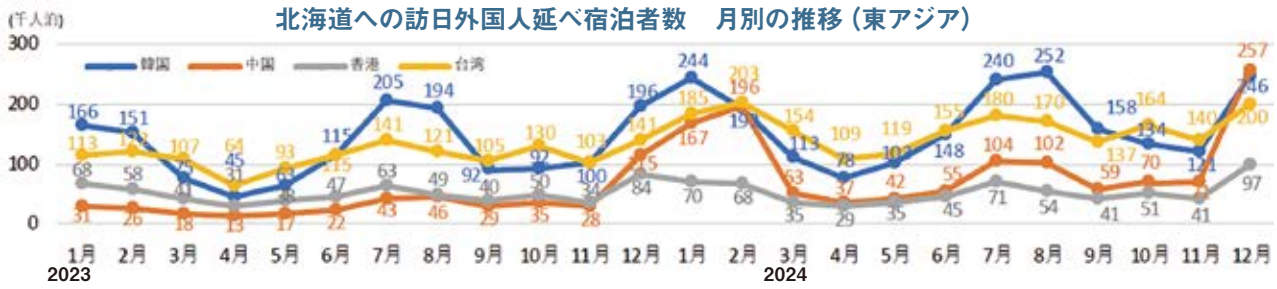
(単位:万人泊)

		2024. 10			2024. 11			2024. 12		
		延べ宿泊者数	前年同月比	2019同月比	延べ宿泊者数	前年同月比	2019同月比	延べ宿泊者数	前年同月比	2019同月比
北海道	全体	374	+13.8%	+22.8%	298	+13.2%	+21.3%	366	+16.1%	+27.4%
	日本人	303	+10.8%	+21.3%	239	+10.5%	+16.9%	223	+13.3%	+20.4%
	外国人	71	+29.0%	+29.1%	59	+25.5%	+43.3%	143	+20.7%	+40.0%
全国	全体	5,844	+4.1%	+16.8%	5,712	+4.9%	+15.0%	5,461	+4.0%	+15.9%
	日本人	4,262	▲2.3%	+7.1%	4,233	▲0.3%	+4.3%	3,920	▲1.9%	+3.3%
	外国人	1,582	+26.6%	+54.2%	1,479	+22.9%	+63.2%	1,541	+22.9%	+67.8%



出典:「観光庁宿泊旅行統計調査」をもとに当機構作成
注1:2024年1月~2024年12月は速報値。

北海道への訪日外国人延べ宿泊者数 市場別推移



出典:「観光庁宿泊旅行統計調査」をもとに当機構作成(延べ宿泊者数が多い国・地域を抽出)
注1: 2024年1月~2024年12月は速報値。

来道者輸送実績

2024年11月-2025年1月

- 全体の来道者数は、11月は114.0万人(前年同月比+13.5%、2019年同月比+4.8%)、12月は115.7万人(前年同月比+8.4%、2019年同月比+7.9%)、1月は110.8万人(前年同月比+17.5%、2019年同月比+9.9%)であった。
- 11-1月は一部の輸送機関で前年同月比を下回ったものの、好調を維持している。2019年対比では、全ての輸送機関で、コロナ禍前実績を上回った。特に1月は5年ぶりに100万人を超え、集計開始以降最多となった。
- 2024年1-12月の年間全体は1,399万人となり、昨年(1,334万人)を上回りコロナ禍前の2019年(1,408万人)に迫る数値となった。(単位:万人)

	2024.11			2024.12			2025.1		
	来道者数	前年同月比	2019年同月比	来道者数	前年同月比	2019年同月比	来道者数	前年同月比	2019年同月比
全体	114.0	+13.5%	+4.8%	115.7	+8.4%	+7.9%	110.8	+17.5%	+9.9%
航空機	101.6	+13.8%	+4.4%	102.8	+9.4%	+8.3%	101.0	+18.3%	+10.5%
JR	6.6	+11.0%	+9.9%	7.1	+6.3%	+8.5%	5.2	+13.7%	+3.8%
フェリー	5.8	+11.1%	+5.2%	5.8	▲4.0%	+0.3%	4.6	+6.1%	+5.3%



出典:「HTO来道者輸送実績調査」をもとに作成

会員
向け

輸送機関別来道者(発地別、着地別)及ビインバウンド位置情報データ(人流データ)はコチラ ▶
北海道の観光統計データ <http://statistics.visit-hokkaido.jp/>



小金澤会長を偲んで

当機構の小金澤健司会長が2025年1月11日に永眠いたしました。

小金澤会長は2022年6月に会長に就任しました。観光業界に新たな視点をもたらし、北海道観光の発展に尽力し、特に新型コロナウイルス禍の影響を受けた観光産業の回復に向けて、国や道と連携した情報発信や観光地づくりを推進しました。また、アジアで初めて開催されたアドベンチャートラベル・ワールドサミットの北海道実行委員会の筆頭副会長としても活躍し、高い評価を得ました。会長の情熱とリーダーシップは、北海道観光の未来に大きな影響を与えました。改めて、小金澤会長のご冥福をお祈りいたします。



令和4年度
通常総会で
小金澤会長が
新たに就任
2022年観光レポート(秋号)より



改革プロジェクト
チームによる提言
(2023年2月10日)
2023年観光レポート(春号)より



提言書を手交する様子



組織・執行体制を見直し、
理事・幹事による活動が
スタート
2023年観光レポート(秋号)より

令和6年度・
北海道観光に関する
提案・要望
2024年観光レポート(春号)より

令和6年度通常総会。
グランドデザインの策定、
組織名称変更
2024年観光レポート(秋号)より



11月22日
北海道
フードフィルム
フェスティバルにて

11月10日
北海道ぐるっとロケ地
フェスティバル赤れんが前

共同記者会見の様子

北海道観光振興機構通

ATWS2023開催に関わる共同ステートメント



ATWSの会期終了にあたり、ATTAとATWS北海道実行委員会は共同ステートメントを发出了しました(全文は実行委員会サイトに掲載)。ATWS2023の成功を称え、互いへの感謝の意を表すとともに、アジア初の実地開催となったこの大会を契機に、これからの北海道・日本におけるATの推進に向けて引き続き協力して取り組んでいくことを宣言しました。

共同ステートメント▶



令和7年新年交礼会



2025(令和7)年1月7日(火)14時～
札幌グランドホテル2階「グランドホール」にて
「令和7年 北海道観光新年交礼会」を開催しました。
参加者数は約300名。



2025年1月23日の理事会で代表理事が決定しました
代表理事 中村 智

※各部で展開している事業の一例をご報告いたします。

プロモーション部(海外)

「Explore Hokkaido: Tastes and Treasures from Japan's North」にて北海道をプロモーションしてきました！

1月30日(木)、ニューヨークにあるジャパン・ソサエティ (Japan Society) で行われたイベントには、Japan Societyの会員、日本語学校生と家族、その他HP経由で参加申込した一般市民、約250名が参加。北海道及び札幌市によるGX推進レセプションや鶴雅グループ様と西山製麺様の基調講演の他、終了後の交流レセプションでは、道産のおにぎりやラーメン、日本酒等が振る舞われました。併せてHTOの北海道観光ブースも設け、パンフレットやマップを活用した北海道の情報提供をすとともに、バーチャル事業で制作した北海道観光のVRを体験していただき、多くの来場者にプロモーションを展開することができました。(担当:澤)



プロモーション部(海外)

BtoB商談会「Japan Roadshow(パース・シドニー会場)」に参加

JNTO主催のBtoB商談会「Japan Roadshow」<2月3日(月):パース会場、2月5日(水):シドニー会場>に参加しました。訪日旅行に関心の高い現地旅行会社、メディア等が来場(パース会場:71名、シドニー会場:127名)され、商談を実施。ウィンターシーズンでは来道者の多いオーストラリアではありますが、今回は、ワインツーリズム、ナイトタイムエコノミーを中心としたグリーンシーズンのプロモーションを行い、今後につながる接点を持つ機会として実りのある商談会となりました。シドニーにレップ事務所を構えて2年目、引き続き最新の情報を共有しながら連携して取り組んで参ります。(担当:坂本)



プロモーション部(海外)

第32回PTAA Travel Tour Expo 2025に出展いたしました

フィリピン旅行代理店協会(PTAA)が主催するフィリピン最大の観光イベント(BtoC)に出展しました。(2月7日(金)～9日(日)場所:マニラ市)会場には300を超える出展者が集い、初日の入場者だけで35,000人を記録する賑わいとなりました。アンケート調査も1,000を超えるサンプルを取ることができ、SNSのフォロワー数も大きく伸ばすことができました。また、旅行博出展と併せて、現地旅行会社やフィリピン航空本社へのセールスコール及び北海道主催のBtoBセミナーも実施し、多くの方々と意見交換し、北海道の魅力をお伝えしました。セブパシフィック航空の新千歳空港直行便の就航に伴い、フィリピンでは、北海道への関心が急速に高まっており、この機会を逃さずに引き続きプロモーションを展開して参ります。(担当:杉山)



プロモーション部(国内)

北海道MaaS総括セミナーの開催

2月12日(水)に開催した北海道MaaS総括セミナーでは今後の活動の基本方針となる北海道MaaSグランドデザインを発表し、MaaS推進における課題などについても議論を行いました。北海道内でのシームレスかつ効率的な移動の実現を目指し、今後も取組を進めて参ります。(担当:高野)



北海道ATの魅力在海外に伝える冬季FAMツアー及び商談会実施事業

北海道のATの魅力在海外旅行会社に向けて効果的に情報提供することを目的として、FAMツアーを実施したほか、海外から招聘したバイヤーと国内の旅行会社の間で商談会を開催し、商品造成につなげました。1月13日(月)から5日間、道東にて実施したFAMツアーでは、冬の糠平湖でのファットバイクやワカサギ釣りを体験しました。また、最終日に行われた商談会では、具体的なAT商品造成に向けた、活発な商談が行われました。(担当:角)



令和6年度「ユニバーサルツーリズム推進事業(ホスピタリティ向上)」外国人観光客への災害時対応セミナー開催

1月28日(火)かでの2・7(札幌市)にて、「外国人観光客への災害時対応セミナー」を開催いたしました。第一部では講師による「災害時の外国人旅行者が困ることと私たちができる支援」についてのセミナー、第二部では外国人ゲスト2名を加えパネルディスカッション形式で、実際に罹災した時の体験談や災害時に外国人が感じること・支援してほしいことをお話いただきました。北海道を訪れる外国人観光客が再び増加する中、今後も「おもてなし」の機運醸成につながる取り組みを行って参ります。(担当:記虎)



欧米豪FIT旅行者誘客・受入事業(マーケティング調査)

当事業は空港を中心とした欧米豪FIT旅行者へのアンケート調査、交通関連事業者様等へのヒアリング、インバウンド人流データの取得などにより現状分析を進めるものです。HTO会員の皆様は「北海道の観光統計データ(HTOが構築している観光データベース)」からインバウンド人流データを確認することができます(無料)。ログイン方法、利用方法、分析したい項目など、お気軽にHTOマーケティング・DX部までお問合せください。(担当:関)



北海道民の観光に対する満足度調査

当事業では北海道民の観光に対する満足度を調査・分析いたしました(分析サンプル3,000件)。算出した偏差値からランクA(≒満足)、B(≒やや満足)、C(≒やや不満)、D(≒不満)とラベル付けして分析した結果、A 14.0%、B 37.3%、C 44.4%、D 4.4%という分布になりました。満足している住民がやや優勢であると見ることができます。旅行者にとって道内観光がより楽しく、快適であることと同時に住民の満足度を捕捉し続け、「住んでよし、訪れてよし」を実現して参ります。(担当:関)

太宰府天満宮「梅の親善大使節」の皆様が来訪

1月24日(金)、太宰府天満宮の「梅の親善大使節」の皆様が来訪されました。昭和31年に始まったこの取り組みは67回目を迎えますが、今年も福岡の県花である梅の花を届けてくださり、北海道にも一足早い春の訪れを感じることができました。夏には、北海道から福岡へすずらんを贈るなど、長年にわたり友好を深める交流が続いています。北海道、九州双方の観光機構においても、両会長(九州観光機構唐池会長と故・HTO小金澤会長)によるYouTube対談はじめ、福岡・熊本県と北海道の観光イベントを開催しました。さらに経済分野における半導体連携など、多方面での交流が行われています。今後も九州とのつながり・連携を一層強化して参ります。(担当:広島)



令和6年度国立公園インバウンド誘客促進調査事業 事業報告会の開催

昨年6月に全国で35番目、道内で7番目に誕生した「日高山脈襟裳十勝国立公園」。観光客来訪を通じた地域活性化の契機となる期待が高まっている中、当事業では、現地検証、地域ヒアリング、さらには旅行会社からのアンケートをもとに当国立公園内を巡るツアーモデルコースを造成いたしました。3月6日(木)に新ひだか町、3月11日(火)に帯広市にて成果報告会を開催し、当日はデスティネーション・マーケティングの専門家である、KIRI北村学際総研所長北村倫夫氏と北海道アドベンチャートラベル協議会会長の荒井一洋氏の講演も行われ、地域の皆様とともに、環境と地域経済に配慮した誘客について考える機会となりました。(担当:森)





令和6年度 北海道来訪者満足度・観光産業経済効果調査事業 調査結果について

HTOでは国内観光客(道内・道外)及び外国人観光客の概要や北海道観光への期待・満足度、さらには旅行消費額を把握し、観光がもたらす地域経済への波及効果を推計することを目的に毎年調査を実施しております。令和6年度の調査結果の一部についてご報告いたします。

調査実施概要

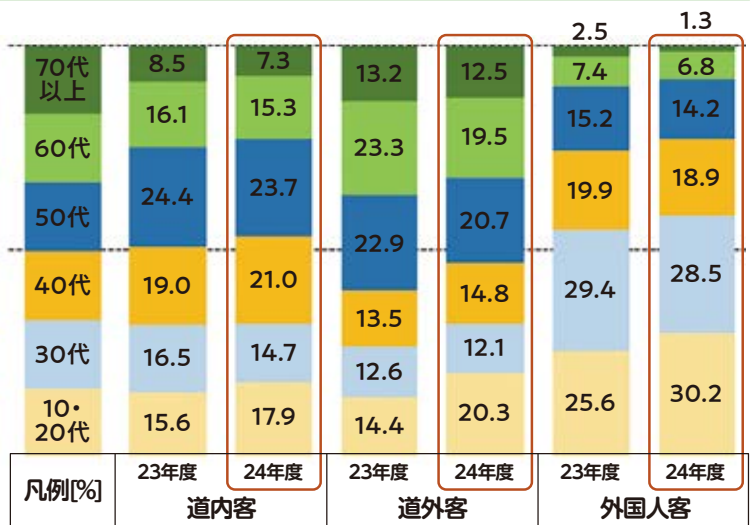
調査地点:全道104か所の観光スポット、交通結節点(駅、空港等)
 調査方法:調査員を配置し、来訪者に自記入にて回答を依頼(WEB上でも回答可とした)
 調査時期:4期に分けて実施 I期(7月)Ⅱ期(9~10月)Ⅲ期(11~12月)Ⅳ期(1~2月)
 調査件数:総計4,680件(道内客1,104件/道外客1,383件/外国人客2,193件)
 調査内容:旅行者プロフィール、旅行内容(目的、同伴者など)、観光行動、旅行費用、旅行ニーズ等

プロフィール 年代

道内客 50代が最多だが、昨年より10・20代や40代が増加

道外客 50代・60代で4割を占めるが、昨年より10・20代が増加

外国人客 30代が中心だが、国内客に比べ10・20代が多く、さらに増加



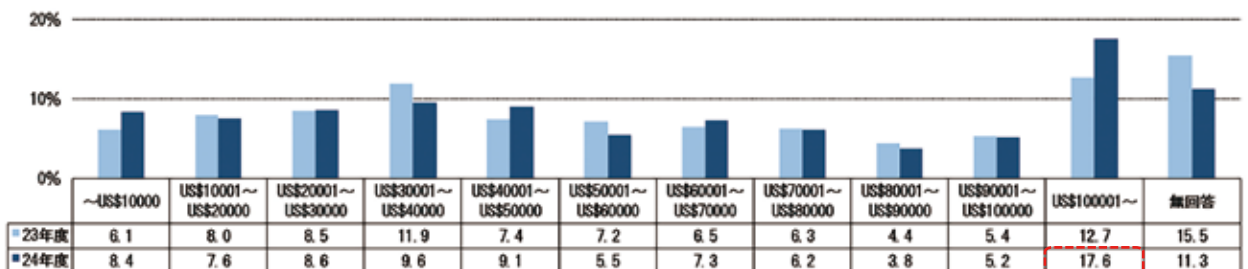
プロフィール 年収

道内客 昨年と比較し、道内・道外どちらも最多帯が200~400万円から401~600万円に上昇

道外客 昨年と比較し、1,001万円超の割合が増え、道外客は道内客の約2.5倍の割合となった

凡例[%]	200万円未満	200~400万円	401~600万円	601~800万円	801~1,000万円	1,001万円超	不明・無回答
道内客							
23年度	7.5	25.4	22.4	10.8	5.3	4.3	24.4
24年度	6.5	22.3	26.3	12.3	6.3	4.4	21.9
道外客							
23年度	6.4	20.3	18.0	10.6	8.4	10.2	26.1
24年度	5.8	15.9	21.8	10.8	9.0	11.3	25.5

外国人客 最多帯は昨年同様US\$30,001~40,000となったが、10万\$超が増加



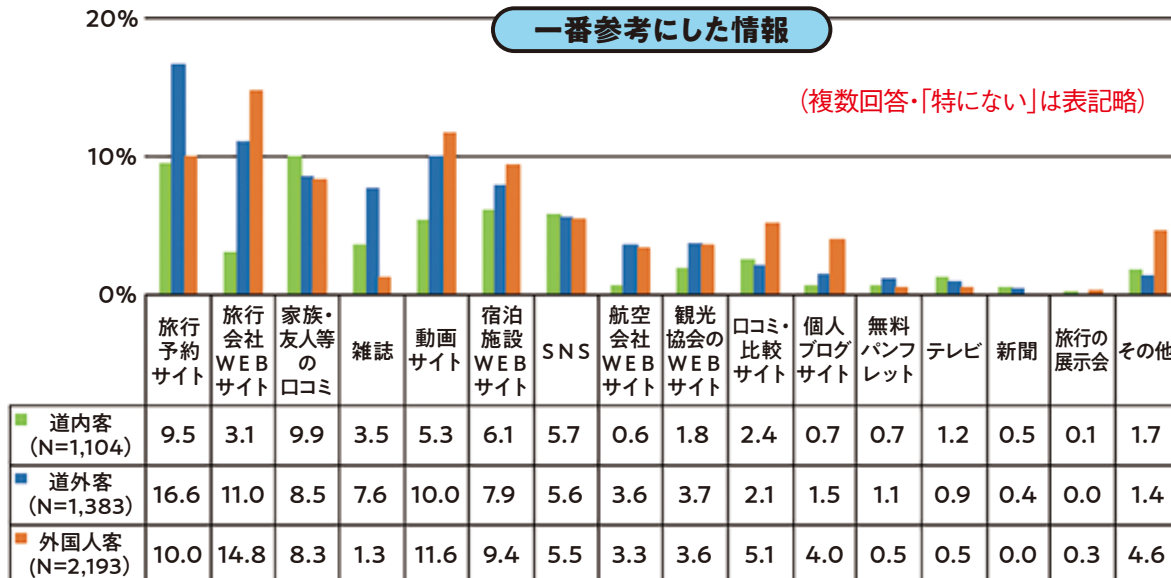
観光客行動 活用情報

道内客 家族・友人等口コミ (9.9%)・旅行予約サイト (9.5%)が多い

道外客 旅行予約サイト (16.6%)が最多であるが、動画サイト (10.0%)も多い

外国人客 旅行会社WEBサイト (14.8%)が最多であるが、動画サイト (11.6%)も多い

一番参考にした情報



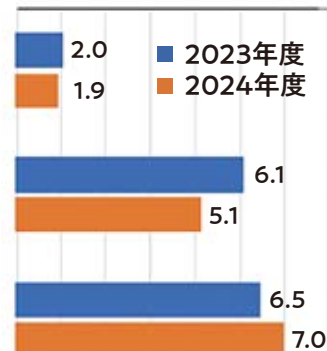
観光客行動 道内宿泊数

道外客 2泊 (29.3%)、3泊 (22.7%)で半数以上を占めるが、5泊以上 (25.3%)も多い
⇒平均5.1泊 ※昨年より減

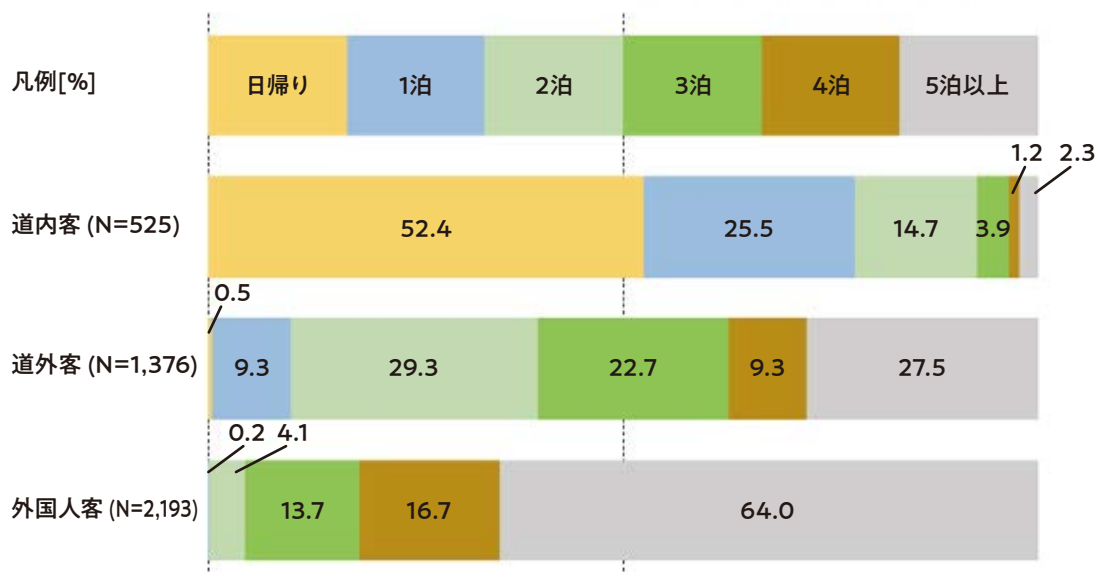
外国人客 約2/3以上が5泊以上 (64.0%)と長期滞在している
⇒平均7.0泊 ※昨年より増

平均宿泊数

1泊 2泊 3泊 4泊 5泊 6泊 7泊 8泊



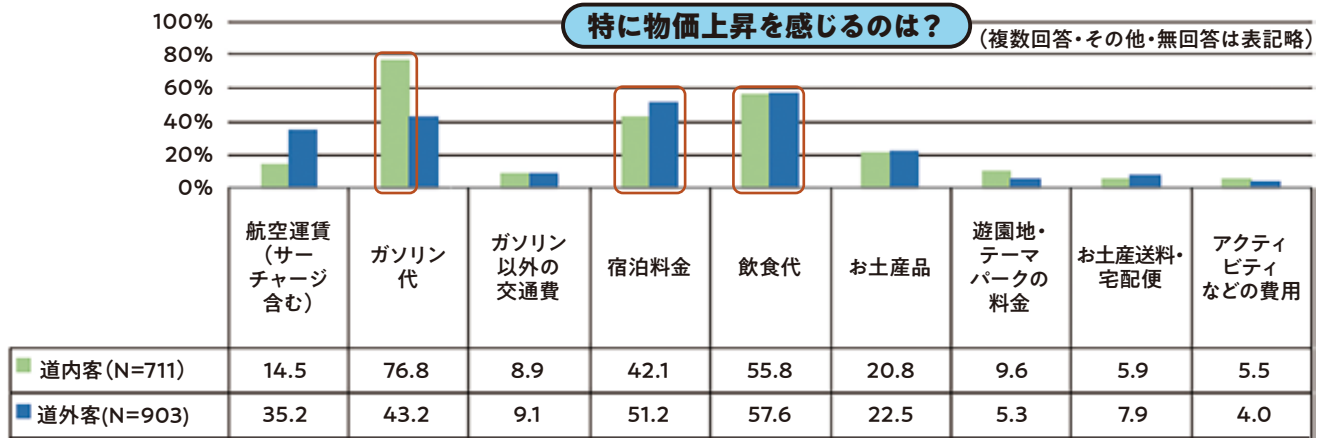
(「無回答」は表記略)



観光客行動 物価上昇

道内客 ガソリン代(76.8%)と割合が高く、車移動中心の道内客は上昇を実感している。

道外客 宿泊(51.2%)・飲食(57.6%)と高い割合を占めた。



プロフィール 円安の影響

今回の旅行で円安がどのような影響を与えたか
外国人客(N=2,193)

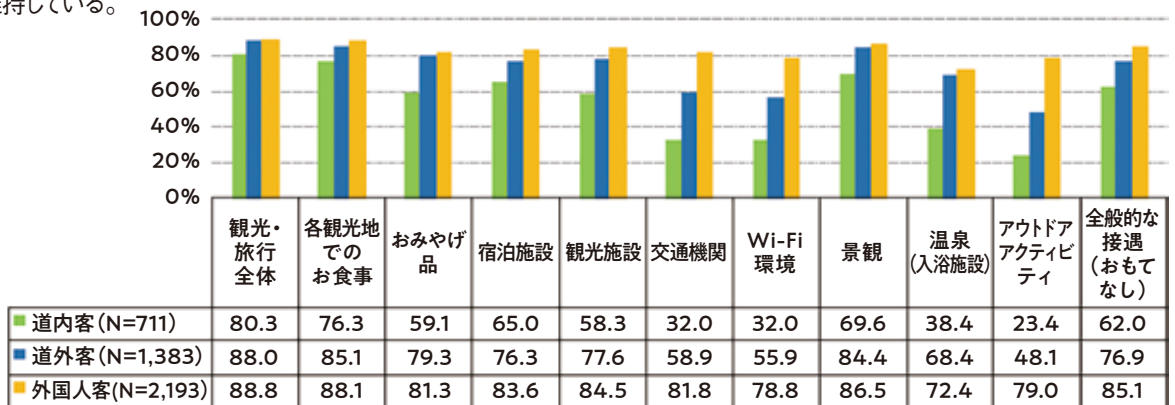
- 飲食のグレードを上げた 36%
- お土産の購入量を増やした 33%
- 周遊する範囲を広げた 25%
- 全体の宿泊数を増やした 21%
- 宿泊先のグレードを上げた 16%
- アクティビティの利用を増やした 11%

外国人客

円安効果は飲食(36%)・お土産(33%)と顕著に出ている。さらには**周遊範囲を広げ、宿泊数も増加**しているという結果も得られた。

満足度 満足度割合

全分野において道内客の満足度が低めとなった。道外客は交通・Wi-Fi・アクティビティで低く、外国人客は温泉満足度がやや低い。昨年との比較では道内客は全般に上昇。道外客・外国人客は全般に下降したが微減であり、懸念するほどの変化ではなく、依然として高い満足度を維持している。



満足度スコア(最高+3~最低-3)	観光・旅行全体	各観光地での食事	おみやげ品	宿泊施設	観光施設	交通機関	Wi-Fi環境	景観	温泉(入浴施設)	アウトドアアクティビティ	全般的な接遇(おもてなし)
道内客	23年度 1.79	1.72	1.44	1.69	1.49	1.17	1.05	1.68	1.60	1.22	1.34
	24年度 1.88	1.83	1.54	1.74	1.52	1.22	1.09	1.76	1.67	1.33	1.46
	増減 0.09	0.11	0.11	0.04	0.04	0.05	0.04	0.09	0.07	0.11	0.12
道外客	23年度 2.21	2.11	1.85	1.86	1.86	1.50	1.34	2.11	1.84	1.55	1.75
	24年度 2.12	2.07	1.85	1.80	1.83	1.41	1.34	2.10	1.84	1.63	1.78
	増減 ▲0.10	▲0.04	0.01	▲0.05	▲0.03	▲0.09	0.01	▲0.02	0.01	0.08	0.02
外国人客	23年度 2.47	2.40	2.21	2.28	2.35	2.18	1.96	2.50	2.30	2.32	2.44
	24年度 2.44	2.40	2.16	2.21	2.26	2.18	2.04	2.42	2.17	2.22	2.38
	増減 ▲0.03	-	▲0.05	▲0.07	▲0.09	▲0.01	0.08	▲0.08	▲0.13	▲0.10	▲0.06

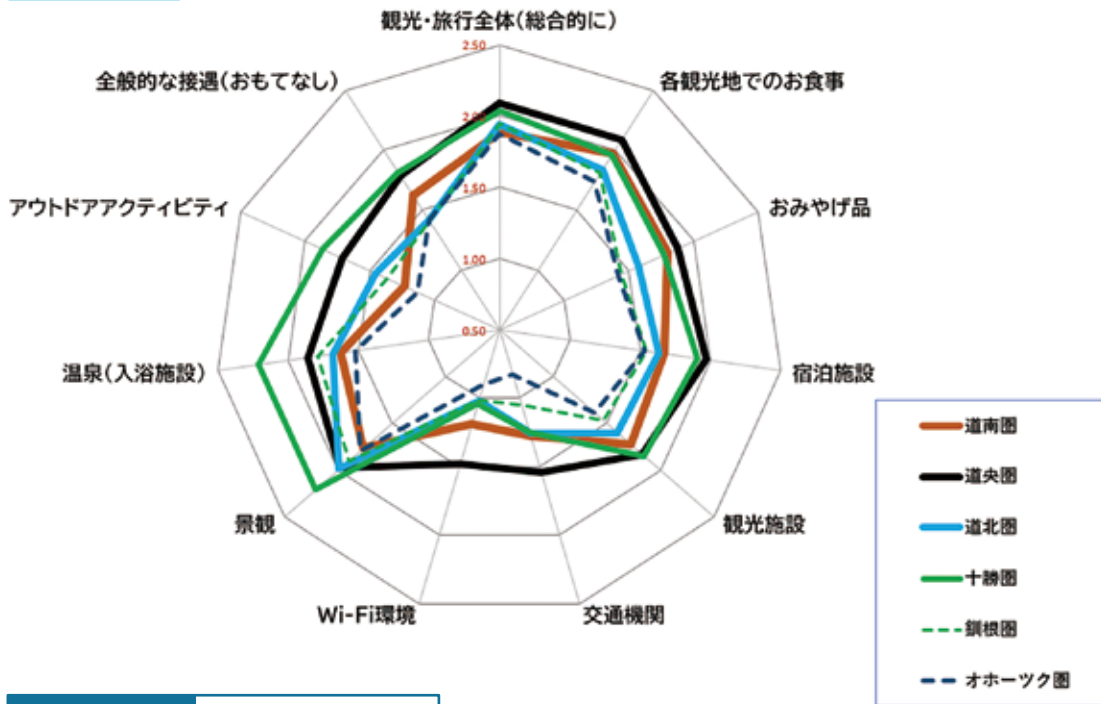
満足度

圏域別(道内・道外)

道内客

温泉・景観・アウトドアでは十勝圏の満足度が高く、Wi-Fi・交通・食事は道央圏が高いが、オホーツク圏・釧根圏は全般に満足度低調

道外客



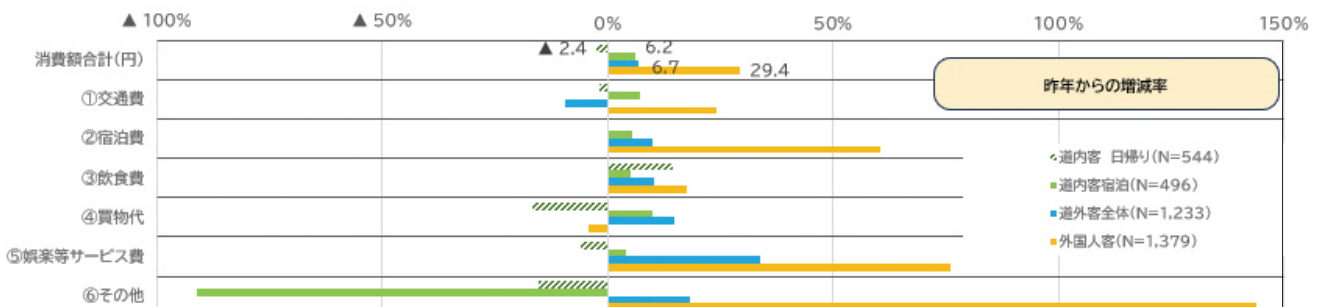
観光消費額

道内・道外・外国

外国人の道内消費額(166,556円)が昨年より**29%と大幅増**、道内客(宿泊)・道外客も6%台の増となったが道内客(日帰り)は微減となった。

※令和6年度の観光入込客数は集計中のため、北海道全体の総観光消費額及び経済波及効果については集計後報告いたします。

	道内客		道外客			外国人客
	日帰り	宿泊	日帰り	宿泊	(道外客全体)	
集計サンプル数(件)	544	496	6	1,227	1,233	1,379
消費額合計(円)	6,308	34,181	13,500	86,801	86,444	166,556
①交通費	2,254	8,631	4,500	20,183	20,107	28,070
②宿泊費	0	13,187	0	25,226	25,103	63,577
③飲食費	1,963	6,747	6,833	20,896	20,828	38,220
④買物代	1,719	4,348	1,667	14,890	14,825	27,924
⑤娯楽等サービス費	362	1,263	500	5,182	5,159	8,089
⑥その他	10	5	0	424	422	676



本事業調査結果の詳細版につきましては
 北海道の観光統計データサイト (<http://statistics.visit-hokkaido.jp>)に掲載しております。



列車でおトクな駅レンタカー！

えきねっと + 駅レンタカー

プラン

JR北海道エリア



「えきねっと+駅レンタカープラン」
について詳しくはこちら！



えきねっとで列車のきっぷをお申込みのお客様

駅レンタカーを特別料金で ご利用いただけます。



【対象クラス】
Sクラス(ルーミー・ライズ等)・Aクラス(カローラフィールダー等)
※詳細はホームページをご確認下さい。

ご利用方法
(両プラン共通)

1. 「えきねっと」より対象きっぷを予約・購入
2. 駅レンタカーの予約ページよりレンタカーを予約
3. ご利用当日、「えきねっと」でご予約いただいた乗車券、指定券、自由席券、「お先にトクだ値」等の購入完了画面を営業所に提示、ご利用料金を営業所でお支払い。

「えきねっと」について詳しくはこちら→



駅レンタカー北海道

※「えきねっと」JR券申込サービスは、JR東日本が提供する全国の新幹線・JRの特急列車等がインターネットで予約できる便利でおトクなサービスです(会員登録無料)。詳しくは、えきねっとホームページをご覧ください。※時期によって料金が異なります。※台数に限りがございますので予めご了承ください。※車種のご指定はできません。※乗捨や各種オプションをご利用の場合は、別途料金がかかります。その他割引商品等、詳しくは当社ホームページにてご確認ください。



※2025年2月現在の情報です。※画像はイメージです。